

つばた

議会だより

No.133

2015.4.5

3月会議

(仮称) 歴史資料館の建設に着手

2P

クローズアップ 各種証明書のコンビニ取得が可能に

4P

委員会審議 並行在来線通学定期に補助

6P

いっぱん質問 温水プール計画を見直せなど 11人が登壇

11P

あの質問のゆくえ スポーツ施設に有料広告を

23P

おそとは気分がサイコウ!

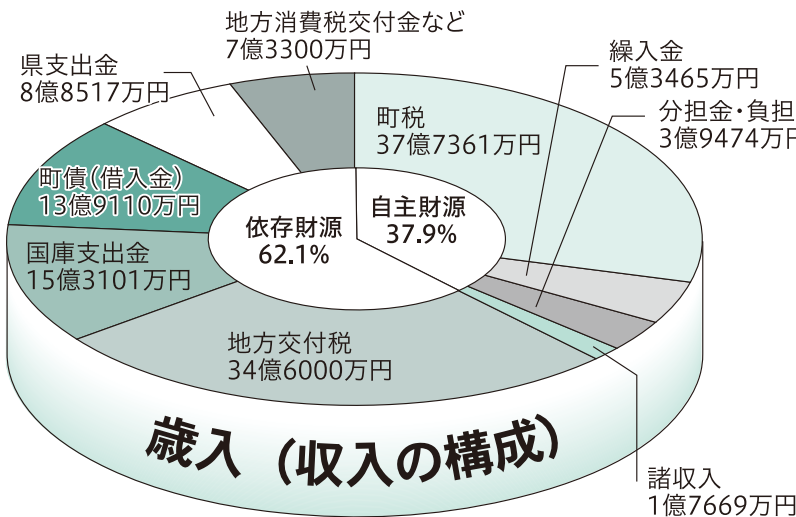
(能瀬保育園)

伝える

史資料館の建設に着手

1億6822万円計上

3月会議を4日から13日までの会議期間で開催した。
初日に平成27年度一般会計・特別会計・事業会計予算、26年度補正、条例の制定・改正など41件の議案が提出され、翌日町政全般について11人が一般質問を行った。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、陳情1件を採択、請願3件を不採択、意見書1件を可決した。



●特別会計●

会計	予算	前年度比 %
国民健康保険	38億4997万円	11.6
直営診療所事業 (河合谷診療所)	345万円	▲34.7
後期高齢者医療	3億337万円	▲2.7
介護保険	25億3208万円	▲1.6
簡易水道事業	618万円	48.5
バス事業	8526万円	▲18.0
ケーブルテレビ事業	4630万円	▲30.2
河合谷財産区	35万円	0.0
計	68億2698万円	▲20.8

(全員賛成)

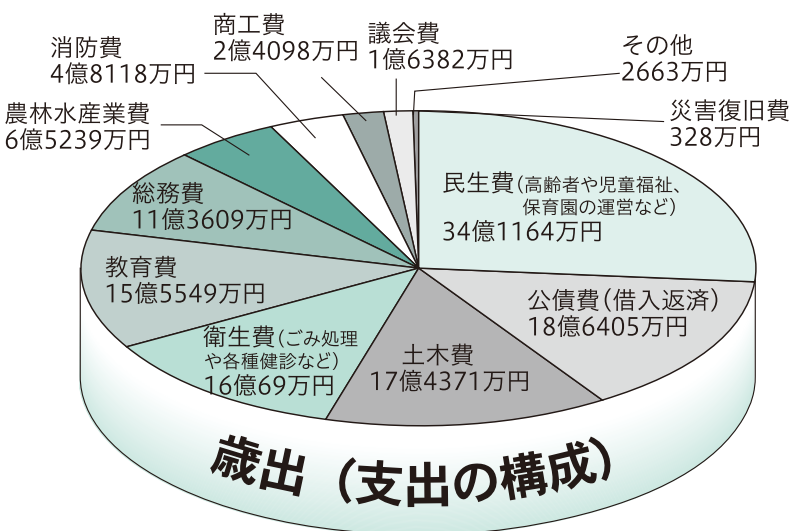
●事業会計●

会計	予算	前年度比 %	
河北中央病院	収益的収支	11億7951万円	1.6
	資本的収支	1億6281万円	▲52.9
水道	収益的収支	8億1479万円	▲5.7
	資本的収支	2億7927万円	2.6
下水道	収益的収支	17億293万円	新
	資本的収支	17億8501万円	新
計	59億2434万円	124.2	

(全員賛成)

※事業会計は支出額を計上

※平成27年度から公共下水道事業と農業集落排水事業は特別会計から事業会計に移行した。



一般会計 前年度比7.0%増
128億8000万円を可決
(賛成16人 反対1人)

町の歴史を学び、 (仮称)歴史



▲外観イメージ

施政方針

平

成27年度の一般会計と8特別会計、3事業会計を合わせた当初予算総額が256億3133万円に決定した。

町

長は施政方針で「将来にわたって活力ある津幡町を維持し、子・孫の時代に個性豊かで潤いのある社会を形成するために、

着実に取り組んでいくことが我々に課せられた責務である。将来の成長・発展の礎となるような施策を議論し、またその施策に大胆に取り組み、推進したい」と所信を表明した。

このうち一般会計は128億8000万円で、前年度当初比7.0%増となった。本年度は、(仮称)歴史資料館の建設、地域の消費を喚起するプレミアム付き商品券の発行や多子世帯の子育て支援、定住促進などの事業に着手し、引き続き第5次津幡町総合計画の策定に取り組む。

平成27年度一般会計

反対

自衛官募集事務費、個人の社会保障の利用状況と保険料・税の納付状況を国が一体で把握するマイナンバー制度、緊急性・必要度の低い町道庄能瀬線道路改良工事には反対である。 塩谷 道子 議員

賛成

町民視点に立ち、目的に応じ充実した内容、財政健全化に向けた経費抑制、効率化への努力など町の行政基盤を固めるバランスのとれた予算である。

八十嶋孝司 議員

使われます

アップ

平成27年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。



▲マイナちゃん
(マイナンバー広報用ロゴマーク)

Q 個人番号カードの取得費用は。
A 現時点では無料の予定である。

平成28年1月施行のマイナンバー制度に伴い、27年10月以降、全国民に12桁の個人番号が通知される。その後、希望者には、本人確認の身分証明としても利用できる個人番号カードを順次交付する。
また、個人番号カードを利用して全国のコンビニエンスストアなどで住民票などの各種証明書の取得が可能となる。

マイナンバー制度に伴い
個人番号カードを交付
各種証明書の
コンビニ取得が可能に
1434万円

箕谷分団・種分団
ポンプ自動車更新
2986万円
平成8年に購入した両分団の車両が経年劣化したため更新する。



▲充実したマップを

地域の防災マップ
作成に補助
60万円
地域住民の防災意識の高揚と災害時における円滑な避難を実施するため、区などが行う地域の防災マップ作成に補助する。

金沢医科大学
病院の病児保育
室「すまいる」を、
平成27年度から
かほく市や当町
の住民も利用で
きるようにする。



▲安心して利用を

病児保育を実施

113万円

幼稚園・小中学校で
非構造部材の耐震改修
1億9368万円
町立幼稚園、小学校、中学校の屋内運動場などの非構造部材耐震化工事を行い、落下、転倒を防止し、児童・生徒の安全、安心を図る。
※非構造部材耐震化
天井に張り付けた部材や壁にかけられた黒板、額などを地震発生時に落下しないよう固定すること。

こんなことに クローズ

定住促進事業費

5588万円

人口減少に歯止めをかけることを目的とし、前年度より増額を図る。
また、新しく移住希望者向けに情報発信を強化するため特設のサイトを構築する。

町道竹橋倶利伽羅線 道路改良工事

4000万円

倶利伽羅公園から不動寺間の道路が狭いため、バスが通行できるように拡幅する。



▲利用しやすく

全国市町村交流レガッタ 開催費

1226万円



▶ボートの町津幡へ

平成27年9月に当町で全国市町村交流レガッタ津幡大会を開催する。ボート競技を通じて各市町村の交流・親睦を図る。

☆開催日

9月26日(土)～27日(日)

科学教育振興事業費

1416万円

科学を身近に捉え、興味、関心を持つってもらうことを目的に、体験型科学実験など、さまざまな事業を実施する。



▲未来のノーベル賞を

条例改正

新教育長制度に

平成27年4月1日以降に任命される教育長が常勤の特別職となり、教育委員長が廃止となることから、関係条例を制定・改正する。

反対

教育委員会の仕組みを変え、行政の思惑を直接反映できるようにした。教育を政治から独立させる原則を変えるものである。

塩谷 道子議員

介護保険料を改定

介護保険法の改正、介護保険事業計画の見直しに伴い、保険料を改定し、経過措置を定める。

反対

介護保険料の算定にあたり、値上げ幅を少なくし、保険料の段階を増やし、低所得者の負担軽減は大いに評価できるが、年金が減らされ給与が上がらない中での上げは生活を直撃する。

塩谷 道子議員

(以上、賛成16人・反対1人)

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝是 谷下紀義

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫

産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭
◎委員長 ◎副委員長

総務



▲若い力を!

条例改正

18歳以上の

学生も消防団員に

-消防本部-

Q 条例改正の必要性は。
A 平成26年4月現在、176人の団員中、20代は26人である。団員の高齢化が進み、人員不足が懸念されるため、18歳以上の学生の入団を可能とし、消防団員の充実を図る。

消防団員募集

文教福祉

放課後児童クラブの

拡充へ

-健康子ども課-

Q 拡充内容は。
A 笠野校区では開所の要望があったため新設した。中条、井上校区では入所児童数の増加により増設し、全12クラブの運営となる。

望があったため新設した。中条、井上校区では入所児童数の増加により増設し、全12クラブの運営となる。

Q 運営形態の変更は。
A 対象児童を小学校に就学している児童とする。また、学校の休業期間中の開所時間が午後4時までだったものを午後6時までとする。

対象児童を小学校に就学している児童とする。また、学校の休業期間中の開所時間が午後4時までだったものを午後6時までとする。



▲新設された「きらりんクラブ」
(笠野校区)



県央地区地方税

滞納整理機構に参加

-税務課-

Q 業務内容は。
A 県と参加市町が共同して、地方税の徴収体制を強化する。徴収困難となった滞納案件を機構が引き継ぐ。

徴収困難となった滞納案件を機構が引き継ぐ。

Q 参加の目的は。
A 県や近隣の市町と連携しながら、滞納整理の強化を図り、公平な税負担を目指す。

県や近隣の市町と連携しながら、滞納整理の強化を図り、公平な税負担を目指す。

Q 参加市町は。
A 白山市、野々市市、かほく市に加え、平成27年度から当町と内灘町が参加する。

白山市、野々市市、かほく市に加え、平成27年度から当町と内灘町が参加する。

Q 職員を派遣することで、町の業務に支障はないのか。
A 嘱託職員を新たに1名雇用し、対応する。

嘱託職員を新たに1名雇用し、対応する。

委員会 審議

産業建設



▲多くの利用を

「Rいしかわ鉄道開業
運賃・通学定期に補助

-交流経済課-

Q 財源は。

A 当町も出資している「Rいしかわ鉄道」の運行支援基金を活用する。

Q 町独自の補助は。

A 町内在住の小中学生、高校生で、2社以上の鉄道を乗り継ぐ区間の通学定期の購入に補助をする。



▲みんな元気で

介護支援に

ボランティアポイントを

-長寿介護課-

Q 目的は。

A 65歳以上の方が、介護ボランティア活動を通じて自身の健康増進を図る。

Q ボランティアポイントとは。

A 活動時間に応じてポイントを付与し、ドレミファ満点カードと交換する。

JR七尾線3駅の

周辺環境を整備

-交流経済課-

Q 整備内容は。

A 本津幡・中津幡・能瀬駅の駐車場照明設備をLED化し、防犯カメラを設置して自転車盗難などの防犯を強化する。また、中津幡駅前広場の舗装、駐輪場とトイレを整備する。

Q 完成時期は。

A 平成27年度中を予定している。



▲安心して利用できる駅に

陳情1件を審査

採択

ウイルス性肝炎患者に対する
医療費助成の拡充に関する陳
情書

◎陳情者 全国B型肝炎訴訟北陸弁護士 弁護士 谷口 央
(全員賛成)

右記の採択された1件の陳情は
意見書として内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を
求める意見書

提出者 黒田 英世
賛成者 塩谷 道子・谷口 正一

政府におかれては、ウイルス性肝炎患者の救済のため、左記の事
項について速やかに実現するよう強く要望する。

1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設するこ
と。

2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳交付の
認定基準を緩和し、患者の病態に応じた認定制度にすること。

(全員賛成)

不採択となった請願

「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の採
択を求める

◎請願者 戦争をさせない石川の会
代表者 昉 昭三
紹介議員 塩谷 道子
(賛成3人・反対14人)

主旨 政府が何を秘密情報とするのか、国民は全く知ることが
できず、国民の知る権利を奪い、個人のプライバシーを
広範囲に侵害するもので、本法は国民主権、民主主義国
家の諸原則に反する法律である。

賛成 戦争する国づくりを進めようとするれば、国民に都
合の悪いことは特定秘密として隠そうとする。何が秘
密かは秘密。知らなくても秘密に近づけば罰せられる。
国民主権を保障する憲法に反する。 塩谷 道子議員

賛成 秘密の特定ができず、行政の恣意的な判断の余地を
残している。指定期間が最長60年で例外も認めている。
半永久的に公開されない事項もあり、国民の知る権利
を侵害するものと考ええる。 黒田 英世議員

賛成 例えば集団的自衛権を行使して海外に自衛隊を派遣
した場合にも、秘密保護法によってその具体的な理由
や根拠が国民には知らされない可能性がある。 中村 一子議員

反対

本法は、防衛やテロ活動防止など、我が国の安全保
障に関する情報の保護、漏えいを防止し、国民の安全
を確保することを目的としている。国民には特定秘密
の指定内容を示している。 荒井 克議員

「日米軍事協力の指針（ガイドライン）再改定作業の即時中止を求める意見書」の採択を求める

◎請願者 戦争をさせない石川の会

代表者 蒔 昭三
紹介議員 塩谷 道子
(賛成3人・反対14人)

主旨

従来のガイドラインにあった周辺事態、後方支援の制約を取り払い、平時から緊急事態まで日米の切れ目なしの協力が実現し、24時間日米が肩を並べて戦闘地域で戦争する体制づくりが可能になる。憲法を無視し、国民不在、国会不在、民主主義を否定するものである。

賛成

政府は、自衛隊を海外へ派兵しようとしている。関連する国内法の整備より先に日米協議で「海外で戦争する国づくり」のルールを敷くことは、国民無視の民主主義否定である。
塩谷 道子 議員

賛成

集団的自衛権の行使容認をベースにした憲法第9条のなし崩しの拡大解釈による安全保障法制整備の一環であり、さきの大戦の反省が生かされていない。
黒田 英世 議員

賛成

今まで国際的な信認を得てきた憲法の解釈を、時の政権、政府が勝手に変更することは認められない。
中村 一子 議員

反対

我が国が平和国家として存続するために、国と国民をどう守るかを考えたとき、日米防衛協力の指針再改定作業は必要である。
荒井 克 議員

「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書の採択を求める

◎請願者 戦争をさせない石川の会

代表者 蒔 昭三
紹介議員 塩谷 道子
(賛成1人・反対16人)

主旨

アジア太平洋戦争の終結から70年が経過した今も、旧日本軍慰安婦問題は性奴隷として扱われた女性への人権侵害として重大で、国際社会は暴力的な連行の有無ではなく、被害者の意志に反して性奴隷にした行為を問題視している。

賛成

朝日新聞の慰安婦記事取り消しを受けて、慰安婦問題そのものがなかったかのような動きがあり、日韓関係をさらに悪化させている。政府は、村山談話、河野談話に立ち戻って早期解決のために尽力すべきである。
塩谷 道子 議員

反対

日本と韓国との戦後補償問題は日韓基本協定、日韓請求権協定などの条約がすべてであり、日本側から見ればかかる問題は解決済みと考える。
黒田 英世 議員

反対

政府は、歴史認識に関して歴代内閣の立場を引き継いでいるが、戦後70年たった今も、度重なる謝罪や賠償請求が個人からなされている。この問題は慎重な取り扱いが必要である。
荒井 克 議員

一般会計
補正予算

6070万円を可決 (全員賛成)

一般会計総額127億9818万円に

冬期の生活道路を確保



▲迅速な対応を

1月15日に1月会議を開催し、一般会計補正予算の議案1件が上程された。
議案は、各常任委員会審議を経て可決した。

○道路除雪費

3961万円

昨年12月からの降雪、積雪に伴うものと今後の支出を見込んだもの。

○消防庁舎改修事業費

55万円

消防訓練塔の老朽化に伴う改修費。

○一般財産管理費

145万円

加賀爪地内の町有地売却に向けた分筆測量登記業務に係る費用。

○人材育成基金積立金

1200万円

環境整備基金の一部を積み立てるもの。

○小中学校維持補修費

219万円

雪や暴風による破損、雨漏り、漏水など早急に修繕が必要なもの。

地方創生に向け 国の交付金を活用し生活支援

一般会計
補正予算

2億4336万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額130億4154万円に



平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億4336万円を増額補正し、総額130億4154万円とした。
8特別会計、2事業会計も全員賛成で補正予算を可決した。

○地域住民生活等緊急支援事業費

1億3288万円

交付金を活用し、地域における消費喚起や生活支援を推進する事業を実施する。

また、津幡町創生総合戦略を策定するほか、総合戦略に位置づけられる事業を先行実施する。

○がん検診費

445万円

胃がん検診(内視鏡)などの受診者数の増加や、子宮がん・乳がん検診委託料増加のため。

○津幡駅バリアフリー化事業費

853万円

公共工事労働単価の改定により、工事金額の町負担金が増額となった。

ズバリ

町政を問う

11人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 河上 孝夫 議員……………12
 - ・温水プール計画の見直しと早期の実現を
 - ・津幡川跡地を公園に ほか1問
- 2 八十嶋孝司 議員……………13
 - ・プレミアム付き商品券を発行せよ
 - ・町の地方創生に独自性のある取り組みを ほか1問
- 3 南田 孝是 議員……………14
 - ・津幡丘陵公園などにドッグランを設置せよ
 - ・ヤフーと災害協定を締結せよ ほか1問
- 4 塩谷 道子 議員……………15
 - ・高校生への医療・通学費に助成を
 - ・住宅リフォーム助成事業の復活を ほか3問
- 5 多賀 吉一 議員……………16
 - ・和歌山県上富田町との交流は
 - ・太白台小学校の登校坂に融雪装置を
- 6 荒井 克 議員……………17
 - ・成人式を1月に開催せよ
 - ・役場周辺道路の交通安全対策の強化を
- 7 中村 一子 議員……………18
 - ・学童保育の補助要綱を見直し
 - ・中山間地域へ人材支援を ほか1問
- 8 西村 稔 議員……………19
 - ・「ぐるりんこバス」の創設を
 - ・防犯カメラの名称を変更せよ ほか2問
- 9 角井外喜雄 議員……………20
 - ・要支援者名簿を平時でも利用できるようにせよ
 - ・町総合体育大会を地区対抗大運動会として開催せよ
- 10 向 正則 議員……………21
 - ・鳥獣被害への町の対策を示せ
 - ・上下水道事業に包括的な民間委託を ほか1問
- 11 森山 時夫 議員……………22
 - ・緑が丘交差点での違反車を取り締まれ
 - ・幹線道路に海拔表示を

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀
(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

ん質問



河上孝夫 議員

計画の見直しと 早期の実現を

町民の要望に応えたい

温水プール

河上 議員

温水プールの候補地として5地区が適地として示されているが、建設場所の決定の時期は。また、計画の見直しを図り、開場時間の拡大や駐車台数の増加を検討すべきである。早期実現に取り組み。

健康増進に

(志賀町アフアパークション)



矢田 町長

現在施設建設のための有利な財源確保ができる事業手法を研究しているところで、建設場所が決定できる段階にない。建設時期も今後の経済状況を勘案し、検討すべきと考えている。開場時間や駐車台数は、今後の基本設計の中で、できる限り町民の要望と利便性を考慮したものと

環境整備

津幡川跡地を公園に

将来の土地利用も考慮し検討する

河上 議員

庄の津幡川跡地は流水がなく、沼地状態であり不衛生な状況となっており。また、八反田川雑排水処理施設も不用となり、

環境整備が必要である。

これら跡地を緑地化し、水辺公園など、津幡川跡地と桜並木ゾーンを一体とした公園整備を図れ。

岩本 都市建設課長

津幡川跡地は、八反田川の都市排水路のみの役割となっており、雑排水処理施設も公共下水道の普及により役割は終わっている。

公園整備は近隣に住吉公園がある点や、津幡川跡地の周辺に農地があるなど課題がある。まちづくりの観点や将来の土地利用も検証し、検討する。



▲整備が待たれる旧津幡川

その他の質問

Q 河北エリア北陸新幹線開業対策ワークショップグループの取り組みは。

A 観光ルート、観光商品の開発に努めている。



八十嶋孝司 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

▶ 地域を元気に



八十嶋 議員
国の経済対策である地域住民生活等緊急支援交付金が創設された。中でもプレミアム付き商品券発行支援は対策の目玉であり、県内でも取り組む自治体が増えている。

地域振興

プレミアム付き
商品券を発行せよ

交付金を活用し実施する

プレミアム内容次第では大幅な個人消費も期待できる。

個人消費の喚起、町の活性化のため、工夫を凝らしたプレミアム付き商品券を発行せよ。

矢田 町長

プレミアム付き商品券は、住民や事業者に直接効果が反映され、消費を喚起する有効な手段である。

交付金を活用し、年2回、プレミアム率20%で商品券を発行できないかドレミファスタンプ会と詳細を詰めている。

独自性のある
取り組みを
将来性・地域性を見据え
策定を進める

地方創生



▲町の独自策を

八十嶋 議員

国の地方創生の動きに対応して、町は地方創生推進本部を設置した。地方創生は国が自由度の高い交付金制度を創設し、やる気のある市町村を支援する政策である。

今後、他の自治体では交付金獲得のため、独自の施策を打ち出すことが予想される。当町の特性を生かした独自性のある取り組みが必要ではないか。

矢田 町長

津幡町創生総合戦略を平成27年度中に策定する。総合戦略の4つの柱は、①安定した雇用の創出、②町への新しい人の流れをつくる、③結婚から出産・子育ての環境を整える、④町の実情と時代に合った地域づくりである。今後もし自立性、将来性地域性を見据え、PDCAサイクルによる検証を実施しながら策定する。

※PDCAサイクル

PLAN(計画) ↓ DO(実行) ↓ CHECK(評価) ↓ ACT(改善)の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する手法。

その他の質問

- Q 指定管理者となった(二社)町体育協会総合型地域スポーツクラブと町の関わりは、協力しながら実施していく。
- A

ん質問



南田孝是 議員

ドッグラン

津幡丘陵公園などに
設置せよ

適地を調査、検討したい

南田 議員

ドッグランは、人と動物の豊かな共生社会を指して設置されていると考える。

ペットを日常生活のパートナーとして飼う家庭が増える中、人と犬がふれあえるレクリエーション空間づくりとして、津幡丘陵公園や体験型観光交流公園内に設置する考えは。

大田 企画財政課長

ドッグランの設置には、立地場所や駐車場の確保、運営上の管理など多様な条件が必要である。

両公園は候補地の一つと考えるが、公園利用者周辺地区の理解を得ることが重要であり、他に適地があるか、運営形態を含め調査、検討する。



▲のびのびできるワン!!
(小矢部市)

ヤフーと災害協定を 締結せよ

現時点では考えていない

防災情報



▲タイムリーな情報を

南田 議員

東日本大震災の後、災害対策に強い関心が高まっている。

当町もより災害に強い安心、安全なまちづくりを推進する必要がある。ヤフーと災害協定を締結し、インターネットを利用した円滑な情報を発信せよ。

矢田 町長

平成27年3月下旬から災害時情報伝達手段として多様なメディアに一斉に伝達する総務省の災害情報共有システム、通称Lアラートの試行運用を予定している。

Lアラートの利用でヤフーのページに避難勧告の発令、避難所の開設情報などが表示され、同等の効果が得られるため、現時点では災害協定締結は考えていない。

その他の質問

Q 宅幼老所の設置を。
A 調査、研究する。



塩谷道子 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

高校生に対して国の授業料無償制度があったが、現在は新・高校就学支援金制度となり、助成となっていない。子ども医療費の助成もなく、通学費用もかかる。医療費の助成制度を18歳まで延長し、通学費用を助成せよ。

塩谷 議員

助成制度

高校生への医療・通学費に助成を

町単独では
行うつもりはない



◀高校生にも助成を

子ども医療費の18歳までの拡大は、15歳で就職する人もいることを踏まえ、町単独では考えていない。通学費用の助成も義務教育でないこと、通学する高校を選択できることなど、公平性の確保が難しいため、現時点では考えていない。

矢田 町長



▲より住みやすく

塩谷 議員

住宅リフォーム

助成事業の復活を

町単独の実施は
考えていない

平成24、25年度に実施した住宅リフォーム助成事業は、便利で多くの町民が利用し、町の中小零

細企業は元気になるなど、大きな経済効果があった。町民が使いやすい以前の制度を復活せよ。

矢田 町長

現在、国の補正予算で創設された地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、交付金の趣旨を逸脱しない仕組みの中で居住環境向上を担う事業が実施できる見込みである。住宅リフォーム助成事業は緊急経済対策を基本とし、2か年の限定事業として実施したものであり、現時点で町単独での実施は考えていない。

その他の質問

- Q** 65歳以上の障害のある方への医療費助成制度の改革を。
- A** 県に要望していく。
- Q** 体験型観光交流公園の見直しを。
- A** 考えていない。
- Q** いわゆる「農協改革」についての見解は。
- A** 農業に携わる人にとり有益なることを期待する。

ん質問



多賀吉一 議員

災害協定

上富田町との交流は

スポーツを通じた
交流を検討している

多賀 議員

災害時相互応援協定を締結した和歌山県上富田町との交流は、大災害時の相互対応を考えると大変重要である。

町長は「協定をきっかけに、友好の絆が深まるような交流をしていきたい」とコメントしているが、今後どのような交流事業を行うのか。

矢田 町長

上富田町は、ツエーゲン金沢のキャンプ地で、平成27年度に開催されるわかやま国体では3種目の競技会場になるなど、スポーツ施設が充実している。

協定締結のきっかけがツエーゲン金沢であったことから、サッカー競技のジュニアスポーツクラブの派遣や紀州口熊野マラソンへの参加など、スポーツを通じた交流を検討している。



▶さらなる交流を
(紀州口熊野マラソン)

融雪装置

太白台小学校の 登校坂に設置を

現行を検証したい

多賀 議員

太白台小学校、保育園の登校坂は、除雪車が出動しない少量の積雪時や除雪後であっても、凍結の恐れがある。急勾配の坂道で車がスリップし、園児を送る保護者の車や登校する児童にとって大変危険である。冬期の通学路の安全を確保するため、登校坂に融雪装置の設置を検討せよ。

矢田 町長

登校坂の歩道は、冬期間、児童の安全な通行に配慮し、除雪機械が歩道で除雪できるよう通常の幅員より広くなっている。消雪装置の設置には、高低差があり、距離も長く、地下水源も乏しいため、建設費がかさむと予想される。現行の機械除雪での対応を検証する。



▲対策が待たれる登校坂



荒井 克 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

成人式

1月に開催せよ

夏開催を継続する

荒井 議員

平成26年2月に成人式開催時期のアンケートが実施され、1月希望が成人対象者で70%、保護者で65%との調査結果が出たが、結論として夏の開催が継続となった。アンケート回答者に調査結果をどのように報告したか。今後も継続して開催時期を検討せよ。

◀期待される若者



矢田 町長

平成6年度から10年度生まれの対象者とその保護者にアンケートを実施した。

県内唯一の夏の成人式として注目を集めており、町をアピールし活性化につなげるため、夏開催を継続する。

アンケートは無記名であり、個別に報告できないが、結果は町のホームページで公表している。成人式の内容や開催時期は、今後も継続的に調査、検討していく。

役場周辺道路

交通安全対策の強化を

交通マナーアップモデル

路線の制定を検討する

荒井 議員

役場周辺道路は朝、昼、策を協議し、あんしん歩夕と非常に混雑している。行エリアや交通安全指定交通弱者の安全確保を考え、安心な歩行環境づくりに取り組め。また、関係機関とも対

矢田 町長

役場周辺道路は近年、交通量が増加している。交通安全対策としてのあんしん歩行エリア、交通安全指定道路には多くの指定条件があり、現時点では該当しないと考える。

交通マナーアップモデル路線の制定を検討するとともに、交通安全対策の強化に努めていく。



▲安心して歩けるまちづくり

ん質問



中村 一子 議員

学童保育

補助要綱を見直せ

国の制度に準じ

見直しを行う

中村 議員

就学援助を受ける児童への保育料減額分は各放課後児童クラブで負担しているが、町で補助すべきではないか。

また、運営委託料の基準額は、児童数が35人から34人になった場合、115万円が減額され、運営に支障が出る。補助要綱を運営実態に即し、見直せ。要望を保護者と協議せよ。



▶友だちが増えるね

矢田 町長

就学援助を受けている児童の保育料の減額は、放課後児童クラブが主体的に独自に実施しているもので、補助は現在考えていない。

指導員は、およそ児童15人に対し1人を基準としている。指導員数を委託料の基準としているのは、保育の質を確保し、指導員を雇用する費用を確保するためである。国の補助要綱が改正されれば、必要に応じた見直しを検討する。保護者との協議は、これまで同様、学童保育連絡協議会の要請に応じて行う。

中山間地域へ 人材支援を

今後とも調査、研究していく

地域づくり



▲中山間地への応援団

中村 議員

高齢化・過疎化が進む中山間地域からは、将来への不安の声を多く聞く。地域づくりの核は人であり、人材支援が必要である。地域住民が主体となる地域づくりに、国が補助する集落支援員や地域おこし協力隊の制度を活用してはどうか。10年、20年後の人口構成などの予想と町の支援策を問う。

矢田 町長

中山間地では高齢化の進展が確実視されている。町の高齢化・過疎化への対応として、移動販売、地域の拠点となる地区社会福祉協議会の設立支援、農村定住奨励金制度などの取り組みを始めている。地域おこし協力隊や集落支援員の導入は検討すべきと考えるが、地域が自立して運営していけるような支援策を講じられないか、今後とも調査、研究していきたい。

その他の質問

Q 津幡駅に洋式トイレを整備せよ。また、町営駐車場の料金に上限を設けよ。

A トイレはJRの事業である。駐車料金の上限は検討を始めている。



西村 稔 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

まちづくり

西村 議員

行ってみたいと思わせる魅力ある津幡町を発見し、それらを巡回できる「ぐるりんこバス」を創設せよ。

町単独でバスを創設し運行することは、多額の費用もかかることから、現時点では考えていない。町内の観光地などをPRし、多くの方に訪れていただけるよう今後とも努力していく。

矢田 町長

ぐるりんこバスの 創設を

考えていない



津幡町の再発見

防犯カメラ

名称を変更せよ

犯罪抑止効果が
薄れるため変更しない

西村 議員

本津幡・中津幡・能瀬 駅に防犯カメラを設置することになっているが、防犯カメラという言葉は町民を監視し、威圧する

印象を与える。町民の生活を支える発想を生かすために、安心カメラと名称を変更せよ。

矢田 町長

防犯カメラの名称は、一般的に認知度も高く、公共施設利用者に安心感を与えるとともに、存在を看板などで明示することにより、犯罪を抑止する効果も大きい。名称を変更すると、特に犯罪を抑止する効果が薄れることから、変更は考えていない。



▲防犯カメラで犯罪抑止

その他の質問

- Q** 区長からの要望事項の取り扱いは。
- A** 緊急性や必要性、財政面などを考慮し、検討している。
- Q** 温水プールの最適地をどのように決めるのか。
- A** 河上議員に答弁したとおりである。

ん質問



角井外喜雄 議員

平時でも
利用できるようにせよ
必要に応じて適正に対応する

要支援者名簿

角井 議員

災害対策基本法では、避難行動要支援者名簿の作成を義務付けており、本人、家族の同意を基本としている。
災害が発生した場合、支援者が迅速かつ適切な行動を図るため、平時でも避難行動要支援者名簿を利用できるようにせよ。

長 総務部長

名簿は、使用方法、管理方法、提供範囲、目的を考慮し、個人情報保護審査会が公益上必要と判断した場合に利用できる。適正な名簿使用に関する研修や未同意者を減らす取り組みを進め、災害時の避難支援など実効性のあるものになりたい。



災害時に備えて

町総合体育大会

地区対抗大運動会として
開催せよ

あらゆる世代が参加できる
大会を目指したい

角井 議員

現在行われている町総合体育大会は、町民の関心が低く、各地区体育協会は選手の確保に苦慮している。

今後は、生涯スポーツ

をねらいとしながら、感動や楽しみをもたらす大会にしなければならぬ。人や地域の交流を促進する地区対抗大運動会として開催できないか。

矢田 町長

近年、体力の向上、健康づくり、地域間・世代間交流なども、スポーツ事業の果たす役割の一つとなっている。

今後の町総合体育大会は、あらゆる世代が気軽に参加でき、スポーツや健康に対する町民の関心を高める町民参加型事業の実現を目指す。関係団体による会議を設け、協議する。



▲みんなで感動を



向 正則 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

鳥獣被害

町の対策を示せ

広域的な取り組みを
行っている

向議員

農林水産省は、平成27年度予算案で鳥獣被害防止対策交付金95億円を計上した。被害防止施設経費の補助、鳥獣被害対策

実施隊による地域ぐるみの活動などの支援とある。町の取り組みは。また、町独自の電気柵購入補助金の対象を示せ。



増え続ける農業被害

河北郡市有害鳥獣対策協議会を設立し、広域的な鳥獣被害防止対策を実施している。当町分としては、水稲被害報告のあった42集落分の電気柵購入費用1255万円を要望している。電気柵購入補助金は、国の対象とならない畑地の被害防止策として、中山間地で活用する。

梶田 農林振興課長

包括的な民間委託を

有効な手法の一つと
考えている

上下水道



▲効率よい運営を

向議員

平成23年度議会決算審査特別委員会で、包括的民間委託は町にとっても経費削減、収益増加が期待できると指摘されている。

安定した事業運営、維持管理費削減のためにも民間委託をせよ。

※包括的民間委託

一定の要求水準（性能要件）を満足する条件で、下水道の運転・維持管理について民間事業者（受託者）の裁量に任せる発注方式。

宮川 環境水道部長

上下水道事業を取り巻く環境は、使用水量の減少、資産の老朽化や耐震化など多額の費用が必要となり、一層厳しくなる。包括的民間委託は健全な経営を目指すための有効な手法の一つと考えている。

平成27年度当初予算には、耐震診断、将来の水需要、経営状況などを予測する委託費を計上した。

その他の質問

Q I R Iしかわ鉄道開業後の津幡駅・俱利伽羅駅の利活用促進策は。

A 地元連絡会を立ち上げ、にぎわい創出を図っていく。

ズバリ
町政を問う



森山時夫 議員

緑が丘交差点

違反車を取り締められ

右折青矢印信号の

設置を要望した

森山 議員

緑が丘交差点では、信号無視、夜間無灯火でのUターンなど違反車両が多く、このまま放置すれば重大事故につながる。

関係機関と協議し、一刻も早く違反行為を一掃すべきである。

矢田 町長

関係機関と協議し、交通事故を未然に防ぐ対策として、緑が丘交差点に右折青矢印信号の設置の要望書を提出した。

また、パトカーでの街頭監視など現場周辺の交通安全対策の強化を津幡警察署はじめ、関係機関に要望する。



▲待たれる安全対策

幹線道路に表示せよ

住宅地までの浸水が想定される場合に検討したい

海拔表示

森山 議員

平成26年8月の国土交通省などの検討会で、日本海での大地震による津波高は珠洲市で15・8mと公表された。内灘、金沢港にもこの波が影響し、河北潟放水路になだれ込み、大きな被害が予想される。

現在、公共施設と民間施設あわせて43か所に海拔を表示している。県の津波浸水想定区域図では、当町の津波による浸水は東部承水路付近の農地のみとなっており、住居などが津波で被災する可能性は低いと考えている。

県の地域防災計画の見直し結果を踏まえ、住宅地などに浸水が想定される場合には検討したい。



▲表示があれば安心

河上 総務課長

追跡 あの質問のゆくえ



▲活躍する移動販売車

これまでに行われた質問や提言がその後どう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

スポーツ施設に有料広告を

平成24年9月会議 荒井 克議員

スポーツ施設の老朽化が進んでいる。安心してスポーツを楽しむため、町内企業や参加団体から協賛金や、有料広告を募り、スポーツ施設の維持修繕費に充てることはできないか。

答 弁

具体的に検討したい

これまでも町ホームページや、広報つばた、町営バスに有料広告を掲載し、財源確保に努めてきた。

修繕費に充てる取り組みは、全国の事例を参考に具体的に検討したい。

その後

運動公園に有料広告を募集開始

平成26年6月から、津幡運動公園体育館の壁面や運動公園野球場の外野グラウンドフェンスに有料広告の掲載枠を設け、募集を開始した。

企業などからの広告掲載料は、修繕費などを含め、有効に活用している。

買い物弱者に町として支援を

平成25年6月会議 八十嶋孝司議員

大型店舗の郊外進出により、車の運転が困難な高齢者の方や身体に障害を持つ方などが買い物に行けず、社会問題となっている。

今後さらに高齢化が進むことから、町としてサポート体制の強化、支援策を示せ。

答 弁

宅配サービスの紹介や利用を促し、支援

買い物弱者への対応として、ボランティアなどによる活動や農協、生協、スーパーマーケットなどで実施している宅配サービスの紹介や利用を促すなどの支援を行っている。

平成25年4月に商工会主体の買い物弱者支援事業実行委員会が発足した。25年度中に買い物弱者の救済と商店街の活性化につなげる取り組みを試行する予定となっている。

その後

移動販売車で買い物を支援

平成26年2月に、(株)ティたすティが買い物に不便を感じている高齢者などが住む地域に出向き、拠点販売を行う買い物支援事業を開始した。

同時に(株)ティたすティとの間で、移動販売車に集う高齢者などの見守り、異変を察知したときの連絡などの、「地域見守りに関する協定」を交わした。

議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、
議会事務局 (Tel.288-6410)



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみます!!

サークル紹介第22回

木目込み東芸会

木目込み人形入門



手作りの木目込み人形を家に飾ったり、差し上げたりすることによって喜びが広がり、素敵な真心の愛となって周りの方々の心を潤します。

木目込み人形は、江戸時代に京都市賀茂神社に仕えていた人が神具の柳筥を作った余材に神官の衣装の端裂を木目込んだ人形を作ったのが始まりと言われています。

講師 **川幡 節子**
かわばた せつこ

最初は難しそうに感じますが、自分の選んだ誰にでもできる簡単な人形から始めます。作る喜び、飾る楽しさ、贈る幸せ、その一つ一つが幼い日の思い出につながり、古来からの豊かな伝統の心が育まれます。

あなたもご一緒に手作りの喜びを体験してみませんか。

☆津幡地域交流センター
毎月 第1・3火曜
13時～15時

◆連絡先
☎090-11638
12678
(川幡)



ディスカバー つばた⑪

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～矢田我柳句碑(庄)～

庄の住吉神社に、俳人矢田我柳(1812～1879)の句碑が建っています。

俳諧を金沢の桜井梅室に学び、我柳、一水庵、蒼雪、見風舎などと号しました。また、和歌を京都の冷泉為理卿に師事し、和歌の雅号は豊風と名乗っていました。

句碑には、「梅さくや 鳥居をくぐる 朝こゝ路 我柳」と刻まれています。



表紙の題字は

津幡中学校1年(笠野小学校卒)
松本 満里菜さんの作品です。

森林公園など自然とふれあえるところがいっぱいあるし、町にはいろいろな施設やお店があって、とても住みやすいです。



あとがき

議会だよりに関わりパソコン操作、文章の作り方など多くの勉強ができました。今さら聞けない簡単な操作、主語は何、これはどこにかかってるなどの指摘をしたりされたりしながら、みんなで編集してきました。

「見ても聞かぬ」「読んでもらえない」議会だよりをつくるのももう少しです。最後までがんばります。

- 編集委員長 黒田 英世
副委員長 酒井 義光
委員 八十嶋孝司
荒井 克
森山 時夫
塩谷 道子